

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束をしないケアの実践という項目で、入居者の安全を考えトイレのカーテンやベッド柵に鈴を付けているが、その事が身体拘束に繋がっている	鈴をつけないケアの実践	社内研修で身体拘束の事を学ぶ。また、家族と話し合いを重ね、転倒等の危険性に理解を求めつつ、鈴をつけない介護を目指す。	6ヶ月
2	3	運営推進会議の回数が年2回と少ない	2ヶ月に1回のペースで開催する	人数が多く集まらなくてもいいので、定期的に民生委員や役場職員に声を掛けていく。	1ヶ月
3	14	入居者のプライバシーを守る。トイレ誘導時に居室のドアを閉めずに介助に入っている。	職員の多い日中だけでも、必ず居室のドアとトイレのカーテンを閉め、プライバシーに配慮する	社内研修で個人のプライバシーに関する勉強会をし、一人一人、入居者の気持ちを把握する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。